

建築科

我ら技術者集団、目指せ未来の匠

〈建築コース〉
「地震から建築物を守るためには」「快適に過ごせる建築物とは」など、安全でニーズに即した建築物を建てるために必要な知識と技術を幅広く習得します。設計士や施工管理者、一般大工などの養成が主です。
〈伝統建築コース〉
全国的な注目を浴びているコースです。日本の伝統技術について詳しく学び、一般大工、宮大工、文化財修復などのエキスパートを養成します。現場で腕を磨いてきた職員が、直接指導に当たるので、生の技術を習得できます。



力田 煌 令和4年度入学 水上中学校出身

球磨工に入学した理由

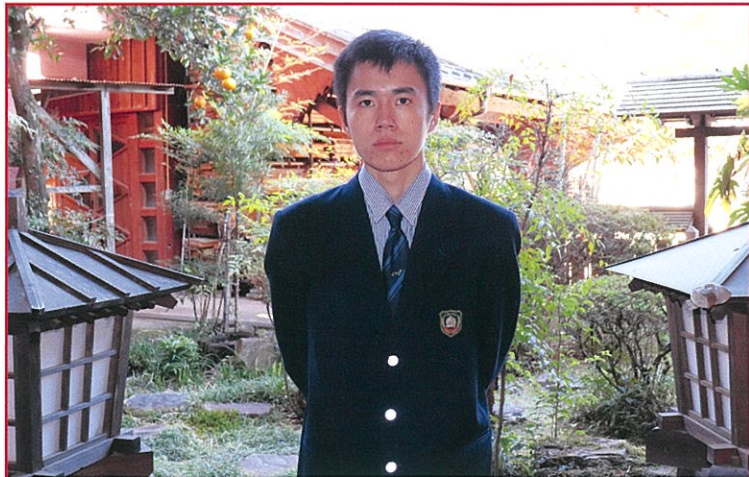
私の祖父が大工をしていて、それを見て幼い頃から憧れを抱いていました。祖父のような立派な大工になるために、建築に関する知識を学び、様々な加工技術を身に付けたいと思い、球磨工業高校建築科への入学を決めました。

楽しい授業

専門の授業の中でも「工業技術基礎」という実習の授業が楽しいです。この授業では、木材加工をしたり、測量をしたりします。最初は難しく感じますが、先生方が的確に教えてくださるので、確かな技術が身に付き、成長を実感することができます。

中学生へメッセージ

建築科では、大工技能検定といった様々な資格を取得することができます。授業を通して、近代建築物と伝統建築物のそれぞれの良さを知ることができ、身のまわりにある建築物への見方も変わり、自身の成長も実感できます。最初は不安な事が多いと思いますが、経験豊富な先生方がいらっしやるので、安心して学び、自分の夢に近づけることができると思います。建築の仕事は、人々の幸せに繋がるとも大切で、やりがいの大きい仕事だと思います。建築に興味のある方は、ぜひ球磨工業高校にきてください!



椎屋 太斗 崇城大学 工学部 建築学科 進学
令和4年度卒業 球磨中学校出身

球磨工に入学した理由

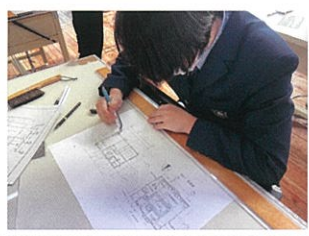
私は元々、木工が好きで建築物をつくり出すことに興味がありました。その中で、建築士を知り、建築物を形づくり後世に残すことのできるやりがいのある仕事に惹かれ将来の夢になりました。その夢を叶えるために、建築について深く学びたいと思い、球磨工業高校の建築科建築コースに入学しました。

高校時代に一番頑張ったこと

私が頑張ったのは、勉強です。定期テストでは常に上位を目指し努力しました。また、建築についての専門教科には特に力を注ぎました。これまでの学びを生かして3年生では、設計競技に挑戦しました。3年間、勉強や設計競技などの活動に取り組むことで、将来必要になる知識や技術を学ぶことができました。また、苦しい中でも最後までやり通す、粘り強さも身につけることができました。そして、何より、勉強という一つのことに一生懸命に努力する、継続する力を培えたと思います。

建築科のアピールポイント

建築科は、とても楽しいところだと思います。先生と生徒の距離が近く、授業中でも休み時間でも、和やかな雰囲気、楽しく建築について学べると思います。また、建築科の先生方は、実際に現場で働いていらっしゃる方が多いので、そういった面でも、建築科は魅力的であると思います。



資格等

◆技能検定建築大工2・3級 (令和4年度実績 2級17名、3級24名合格)

これは、大工として一定の技能を持っていることを国が証明したものです。社寺建築や文化財修復、一般住宅など、実際の現場で修行を積んできた職員が指導するので、大工としての確かな技術を身に付けることができます。

◆2級建築施工管理技術検定(学科のみ) (1名合格)

大会実績

- 第19回熊本県高校生ものづくりコンテスト 木材加工部門 1位(金賞)
- 第19回熊本県高校生ものづくりコンテスト 家具工芸部門 1位(金賞)、2位(銀賞)
- 第21回高校生ものづくりコンテスト九州大会 木材加工部門 3位(優良賞)
- 第21回高校生ものづくりコンテスト九州大会 家具工芸部門 2位(優秀賞)
- 第11回つまようじタワー耐震コンテスト高校生大会 専門高校建築部門 特別賞 など

その他の活動

- 小高連携木工教室(毎年実施)
- 親子木工教室(毎年夏休みに実施)
- 地域活性(祠制作+修理・木製プランター製作・木工教室) など

建設工学科

人々が安心して快適に暮らせるまちづくりー地域を守る技術者!

「なぜ、ネットで購入したものが数日後に届くの?」それは、空港や港、高速道路が整備されているから。これらを社会基盤といい、私たちの生活を快適にしたり、ダムや護岸など生命や財産を守ったりするものがあります。また、災害発生時には、いち早く駆けつけ、救助活動や支援物資移送のための道路を復旧します。「地域を守り、みんなの生活を支え、安心して快適なまちづくりに貢献する」これが建設技術者の役割です。



須恵 ゆうみ 令和4年度入学 人吉第二中学校出身
杉本 潤(人吉二中) 須恵ゆうみ(人吉二中) 西 華凜(錦中)
溝下 光(人吉二中) 高橋さくら(錦中) 松下 詩乃(人吉二中)

球磨工に入学した理由

令和2年7月豪雨がきっかけで建設工学科に入学しました。人吉市は大きな被害に遭い、私が毎日通っていた西瀬橋も流されてしまいました。他の地域の被害状況をテレビや新聞で見て、私も道路や橋を復旧する仕事に携わりたいと思いました。

面白い授業

製図の授業が面白くて好きです。授業では土木構造物の図面を描きます。簡単なものから始めますが、難しく全然わからなくて、最初は先生に教えてもらいながら描いていきました。粘り強く取り組むと、少しずつ慣れてきて、周りの人に教えられるくらい上手くなりました。

中学生へメッセージ

建設工学科は、先生も生徒も元気が良く明るい人が多いです。また、建設工学科は現場見学などが年に数回計画されていて本物を見て触って勉強することができます。工業高校は実習などがあって、中学までの勉強とはちょっと違います。また、学校行事などでは、それぞれの科が丸となって活気に満ちあふれていて、とても良い思い出になると思います。球磨工に入学して一緒に頑張りましょう!



桑原 哲汰 西日本高速道路メンテナンス九州(株)
令和4年度卒業 あさぎり中学校出身

球磨工に入学した理由

熊本地震では県内各地で甚大な被害が発生し、復興の様子を見て建設技術に興味を持ちました。また、入学してまもなく令和2年7月豪雨が発生し、建設業の重要性を改めて感じました。建設業は私たちの生活には欠かせないものだと思います。

高校生活で頑張ったこと

勉強と部活動の両立です。授業では実習が特に楽しく興味を持って取り組むことができました。材料試験では器械器具を使って土や水の性質を数値で表したり、測量実習で正確に測定できたりしたときはとても嬉しかったです。また、資格では目標としていた2級土木施工管理士を取得することができました。何でも興味を持って楽しくやるのが大切だと思いました。

建設工学科のアピールポイント

建設工学科では、2級土木施工管理士や測量士補、建設機械など卒業してすぐに役立つ資格を取得することができます。また、先生方も面白い方や優しい方が多く、わからないことがあっても基礎から丁寧に教えていただけるので安心です。勉強が得意な人は資格取得など高い目標に向かって、苦手な人は先生方とじっくり学習に取り組む、これが建設工学科のよいところだと思います。

資格

★2級土木施工管理技術検定(国家資格)

建設現場の責任者として工程、品質、安全管理をするための資格

★測量士補(国家資格)

測量法に基づき、基本測量や公共測量をするための資格

★建設機械特別教育(バックホー、締固めローラー、高所作業車)

土を掘削したり締め固めたり、高所での作業に使用する建設機械の資格

★その他(建築CAD検定、情報処理技能検定、パソコン入カスピード認定試験)

ボランティア, 地域貢献, その他の活動

建設工学科の授業に加え、建設業の役割を学んだり、技術を習得したりする授業として、次のような体験学習や地域貢献に取り組んでいます。

★国土交通省「出前講座」、熊本県土木部「建設産業ガイダンス」、 「舗装実習」(1, 2年生)

★管内建設会社との連携による「現場見学」(1, 2年生)

★防災に関する取り組み(3年生)

- ①熊本大学及び熊本県立大学と連携し外水氾濫の調査
- ②人吉西小学校の児童を対象とした「防災教室」
- ③ものづくりによる地域貢献
(令和4年度はコンテナマルシェに製品を寄贈)
- ④こぼと保育園の園児を対象とした「建設業って何?教室」



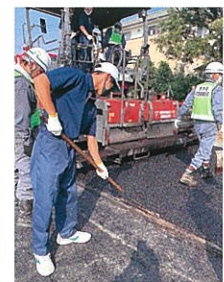
外水氾濫の実験



出前授業(国交省との連携)



舗装実習
(熊本県土木部との連携)



気象センサー
(熊本大学との連携)



防災教室(人吉西小との連携)